1951年12月7日第3種郵便物認可　　(1)

社会新報（岡山版）

2020年7月1日
（いのちとくらし＆へいわ）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
TEL03-3553-3731 1部 〒168円・月720円

岡山市北区弓之町5－7 Tel.086－226－1234
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail：shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp
発行責任者 武本恒夫

疑惑隠しを許さず、国民の声に機敏に応える政治を！

コロナ禍の「緊急事態宣言」解除で、街中に人の動きが少しもどりつつある岡山駅前で、総がかり行動に参加のみなさん　6・19岡山

「コロナ最前線・自己責任と"特需"か！」

梅雨入り後、雨が中休みとなった6月19日夕、岡山駅前で、戦争させない・9条壊すな！総がかり岡山が、街頭宣伝を行なった。

この間、新型コロナ禍で「緊急事態宣言」が全県対象に発出、外出自粛と休業要請など、国民生活は大きな制約を受けてきた。党県連合は4・5月の街頭活動を一部見送り、電話相談などを中心に活動してきた。

19日の岡山の行動には市民、団体、政党などから20名が参加した。5人がマイクリレーで「憲法の生きる権利も、コロナ禍の自粛・休業で仕事や住む所さえ脅かされている」「国会を継続し、国民の声に応えるのが政治だ」と訴えた。社民党も野崎副代表が「必死に頑張っている医療現場には自己責任を押し付け、自粛や休業と保障は一体であるべき経済支援が、一部の企業には「特需」となり、まさに「強盗」としかおもえないことが起きている」と、不透明性を徹底して正すよう訴えた。

また「緊急事態条項」の改憲発言を批判、同じ「緊急事態宣言」でも安倍改憲がいう改憲の緊急事態は、憲法を停止し、「隠ぺい・解釈変更、改ざん・ウソ」が公然とまかり通るような独裁的な政治につながることが危惧される。国民がいのちと暮らしを守り、頑張っているなかで、火事場ドロボー的な改憲発言と厳しく批判した。

戦争は人間が生み出した惨禍・繰り返さないために！

戦後75年、多くが戦後の記憶しかない世代に、戦争を語り継ぐ意味はどこにあるのか。その問いかけに真正面から答える「6・29岡山市民平和祭」が今年も開かれた「空襲は警戒警報も発令されないうちに始まり（略）繰り返し波状攻撃を受けた市街地は猛火につつまれ、混乱した市民は逃げ惑うしかなかった」　チラシより

平和推進岡山市民協議会は、6月26日～30日、岡山市エキチカ広場で岡山空襲写真パネル展を開催。市立「岡山空襲展示室」資料を市民協議会が公開展示。「戦後75年の節目の年、市民のほとんどが戦争を知らないなかで、6月29日の岡山空襲の惨禍をどう語り継ぐかが問われている」と、毎年取り組んでいる。

26日、開会セレモニーは、一分間の黙とうに続き、大石和昭理事長があいさつ「戦争で亡くなるのは兵士ではなく多くは市民だ。この事実を写真展が伝えている。先の反省にたって戦争をしない憲法の精神は希望の宝となった」と、写真展を続ける意味を訴えた。

6・29岡山市民平和祭の開会であいさつする大石理事長（左端）。60点を超える写真・焼夷弾レプリカなどを展示。

写真上：新型コロナ感染防止から4・5月中止となった党定例街宣を6月24日再開、宮田代表武本幹事長がマイクを持ち、この間の国会情勢、コロナ対策について報告、訴えた。

写真下：同じく6月27日、再開した市民と立憲野党の合同宣伝

党県連合活動日誌

6/2　平和推進協　岡山市と懇談（武本）
6/17　佐与谷川産廃処分場裁判
6/18　平和推進協運営委
6/19　総がかり　マツキヨ前
6/24　党定例街宣　マツキヨ前
〃　さよなら原発実行委（武本）
6/26　6・29市民平和祭（～6/30）
6/27　市民と野党の意見交換会
〃　同　合同宣伝　マツキヨ前

総選挙支援カンパのお願い

口座記号番号　01270－0－5144
口座加入者名　社会民主党岡山県連合
※2次集約　コロナ問題のため延長し継続中

本

欄で、新型コロナは感染拡大に「忖度しない」「国境を持たない」と言ってきた。それにはやや修正が必要かも。感染者数や死亡者数に、ある特徴が報告されている▼アメリカの人種差別抗議のデモの背景には、新型コロナ感染状況から見る社会構造の問題があると指摘する。ネットの孫引きだが「ワシントンポスト」紙は、黒人の感染率と死亡者数が他の人種と比べて突出して高いことを報じて、その理由を経済格差によっている▼貧しい層が多い黒人は保険の未加入者が多く、生活地位の医療体制も弱い。持病の基礎疾患が多いなど奴隷制度にさかのぼる歴史にも由来されるという。また仕事内容（現場従事）や住宅問題（密な集合住宅）などの格差が挙げられている▼コロナ「収束」のキーワードが「3密」やソーシャルディスタンスであっても、経済効率が絶対の都市集中の見直しまでどう踏み込めるか。コロナ後の「新しい社会」のテレワークやリモート飲み会はどうなっていくのか。（の

定例学習・読者会

「新報」読者会
7月14日（第2火）18時
弓之町「時事問題懇話会」
7月31日（月末金）18時
※コロナ状況で予定変更ありいずれも岡山社会文化会館

ご案内

7/19（日）　総がかり行動
7/22（水）　党定例街宣
※マツキヨ前　18:00～

7/25（土）　17:00～
市民と立憲野党の合同宣伝
マツキヨ前

被爆75周年の原水禁岡山平和行進、広島引継ぎ式は中止となります。

8月原水禁・広島・長崎大会はリモート会議で行なわれ、現地集会はありません